

所属：教育学部・教育学研究科 美術教育 彫刻研究室

教授 奥田 真澄 (おくだ ますみ)

カテゴリ) 芸術・スポーツ、素材、歴史・社会・地理・文化、教育学・心理学・哲学

《一言アピール》 人物やそれを取り巻く環境をテーマに彫刻作品の制作をしております。制作方法は粘土で原型を作り、それを型を用いてテラコッタやブロンズの素材にしています。

## 研究テーマ

## Research Themes

### ■ 塑造による人物表現

人の形や存在のあり方に魅力を感じ、人物をモチーフに塑造(粘土を用いた制作)で彫刻作品を造っています。人の静かで強い存在感を捉え、表現したいと考えております。

### ■ テラコッタの技法研究

テラコッタの作業工程中にできる形のずれ、粘土の収縮による柔軟な歪み、焼く事で違った物質に変化する素材の性質や変化を、表現に生かすことを研究しております。

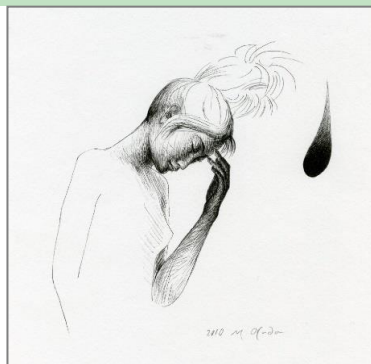
## 所属学会

- 大学美術教育学会
- 日本教育大学協会
- 新制作協会
- 美術教育研究会
- 美術解剖学会

## 主な個展

- 2012年 「奥田真澄展 一春の序章」高島屋大阪店／大阪
- 2011年 「奥田真澄 テラコッタ展 一土のうた」日本橋三越本店／東京
- 2011年 「奥田真澄 彫刻展」宇都宮脳脊髄センター／栃木
- 2010年 「奥田真澄展」ギャラリーせいほう／東京
- 2008年 「奥田真澄展」ギャラリーせいほう／東京
- 2006年 「奥田真澄展」ギャラリーせいほう／東京
- 2004年 「奥田真澄展」ギャラリーせいほう／東京
- 2000年 「奥田真澄展」ヒルトンホテル／東京

少女と雨粒 2010年 紙にペン  
H17×W17cm  
(三重大学全学シーズ集HPより) →



## 主なグループ展

- 2011年 「第75回新制作展」 国立新美術館／東京
- 2010年 「第74回新制作展」 国立新美術館／東京
- 2009年 「第73回新制作展」 国立新美術館／東京
- 2008年 「第72回新制作展」 国立新美術館／東京
- 2007年 「第71回新制作展」 国立新美術館・京都市美術館／東京・京都
- 2006年 「スキノデリック—彫刻の表層—」東京藝術大学大学美術館 陳列館／東京
- 2006年 「第70回新制作展」 国立新美術館／東京

「微かな歌声 2009年テラコッタ  
H120×W90×D25cm」  
(三重大学全学シーズ集HPより) →



(ほか、2枚目以降につづく)

## 受賞

- 新制作協会会員推挙(2005年)
- 新制作協会新作家賞(2004年)
- 新制作協会新作家賞(2003年)
- 新制作協会新作家賞(2000年)
- 久米桂一郎賞(1995年)

## 論文

- エジプト・ギリシャにおける人体表現の相似と相違 一時代を超えて共通する古代の人体美—  
美術解剖学雑誌(美術解剖学会)VOL.14 NO.1 pp.55~66

## 関連ホームページ

- Masumi Okuda Website <http://masumiokuda.com/>
- 三重大学教育学部美術教育コース <http://www.edu.mie-u.ac.jp/outline/fc-introduction/bijutsu/index.html>
- 三重大学教員紹介 <http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/2766.html>

☆詳細は、HPをご覧ください。

## 主なグループ展 つづき

- 2005年 「Iron Tribe 2005」Burris Hall Art Gallery／アメリカ
- 2005年 「受賞作家展2005」ギャラリーせいほう／東京
- 2005年 「第69回新制作展」東京都美術館／東京
- 1999年 「The Tide」ソウル大学校美術大学＋東京藝術大学彫刻シンポジウム、東京藝術大学大学美術館取手館／取手
- 1999年 「第63回新制作展」東京都美術館／東京
- 1998年 「第62回新制作展」東京都美術館／東京
- 1997年 「第61回新制作展」東京都美術館／東京



①



②



③

①夜の窓辺 2008年ブロンズ H20×W20×D10cm

②何も無い場所 2010年 テラコッタ H25×W12×D17cm

③暁の夢 2011年テラコッタ H35×W135×D60cm

(三重大学全学シーズ集より)

☆詳細は、HPをご覧ください。